

園芸学科通信

第21号



レイカディア大学・米原校

選択講座・校外学習

■ 巨木と名木を訪ねる現地見学
講師：田上 知氏

園芸学科2年、後期選択講座の校外学習「巨木・名木の現地見学」が実施されました。この日は、6月5日(火曜日)は、田上知講師による「巨木・名木を訪ねる」をテーマに、長浜市高月町周辺で受講しました。この地域は県内有数の巨木、名木が多く残っており有名です。39期生はいつもの通り自動車の相乗りで北陸線高月駅東口に集合しました。駅前で田上講師の概要説明があった後、再び自動車で相乗りし、最初の訪問地「西物部の野上ケヤキ」を目指しました。



西物部：野神ケヤキ



高月町森本：工場横のムクノ木

②横山神社のシノキ(高月町横山)境内に立つ2本の御神木で、樹高10メートルと12メートル、幹回りいずれも4メートルくらい。推定樹齢300年の大木です。支柱等により大切に保護されており、周りの樹々を抑えて神々しい雰囲気を醸し出しています。

③唐川の野大神アサキ(高月町野大神)平地に突然そびえ立つ、通称「本杉」と呼ばれる、樹高20メートル、推定樹齢400年と云われ、宮本武蔵の口歌に使われた名木です。近年衰弱が見られ数回の保全活動が行われています。



黒田：アカガシ

④黒田のアカガシ(黒田集落の野神で、樹高15メートル、幹周6.9メートル、樹齢400年の新日本名木百選に選定されている。集落を通り、黙書対策ネットを開けて山分け入ると圧倒されるような樹木に「一見の価値あり、心に残る名木でした」。



唐川：野大神アサキ



横山：シノキ

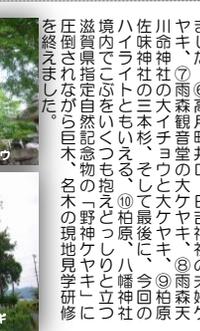
⑤雨森芳洲庵の根上がりケヤキ(高月町雨森)午前の子午を終え、この後は雨森にある「雨森芳洲庵」に場所を移し、歴史、平井先生から湖北の村からケヤキが見える」といふ内容で、雨森芳洲の物語や朝鮮通信使絵巻の解説を受けた講演をしていただきました。また、巨木については、田上先生から、門近(トモ)の樹齢200年、樹高20メートル、根上がりケヤキむらやな姿の根張りが見事、根まわりがケヤキ」の説明を受けました。



雨森：雨森芳洲庵の根上がりケヤキ



黒田：三本アサキ



唐川：大イチョウ



横山：シノキ

伊吹山山頂へのこの会事務局から、伊吹山山頂区域(西洋タンポポの除草)に繁殖して固有種の「フキタンポポ」が絶滅の危機に瀕している。そのため、西洋タンポポを駆除するためのボランティアを依頼をされていますが、その除草作業に園芸学科生の有志数名が参加しました。



伊吹山山頂での除草作業の様子

③ 39期園芸学科生有志が参加
西洋タンポポの除草ボランティア
伊吹山山頂へのこの会事務局から、伊吹山山頂区域(西洋タンポポの除草)に繁殖して固有種の「フキタンポポ」が絶滅の危機

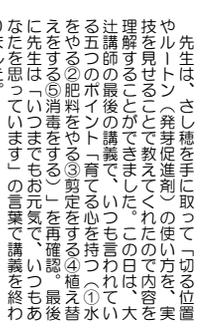
午後も巨木、名木を訪ねて5か所訪問しました。⑥高月町井口、日吉福祉の夫婦ケヤキ、⑦雨森観音堂大ケヤキ、⑧雨森天川命神社の大イチョウと大ケヤキ、⑨唐川野大神の三本杉、そして最後は、今回のハイライトともいえる、⑩和原八幡神社境内で「名木百選」にも指定されている「立木」滋賀県指定自然記念物の「野神ケヤキ」に到着し、巨木、名木の現地見学研修を終えました。

6月1日、伊吹山の里文化センターに集合した参加者は、主催者が用意したバスに乗り、伊吹山スカイテラス駐車場に着きました。その後、準備された作業用具を持って山頂域に移動、登山道には、シカが現れたり、お花畑には、トモソウ、コキンバエ、マムシグサなどが咲き乱れていました。割り当てられた場所を、天敵ともいえる西洋タンポポの除草を始めました。晴天に恵まれた山頂で約5時間、駆除したタンポポは90キロを超え、伊吹山固有種の保護に貢献できました。



伊吹山山頂での除草作業の様子

植物が病原菌や害虫に侵されるのは、それらが活動し繁殖しやすくなった時で、密植した枝葉が環境(天候、気温、湿度、土壌の条件)や生育状況が組み合わさるため病気が発生しやすい状態を知り、適切な対策を講ずることが必要です。その後、病気や害虫の種類と具体的な症状、その対処方法の説明を受けました。また、公開講座であったこの講義には、今秋入学予定の5名の聴講生が熱心に耳を傾け授業内容を体験していました。



病気の診断と予防の講義の様子

① 樹木病害の診断と予防
講師：田上 知氏
今月初の選択講座は、6月7日に受講しました。講師は、6月5日に実施した選択講座、校外学習「巨木・名木を訪ねる」に引き続き、田上知氏で、「樹木病害の診断と予防について」をテキストとパワーポイントを使っての講義でした。境内で「名木百選」にも指定されている「立木」滋賀県指定自然記念物の「野神ケヤキ」に到着し、巨木、名木の現地見学研修を終えました。

6月19日の選択講座は、「盆栽の育て方と増やし方」で、講師は大辻敏雄氏でした。取り木・さし芽で増やす内容で、実際に育てておられる盆栽を持参し、実物を見ながらの技術は大変参考になりました。また、さし芽については、アシサイ・イチジク・山椒などの7種類のさし芽用土やポットなどの材料を生徒の数だけ用意していただきました。



盆栽の育て方と増やし方の講義の様子

授業は、バードコール(鳥の声を出す道具の事、鳥笛とも呼ばれ、木の枝とホルンを合わせて作る。木片と金属棒をすり合わせた時に出る音が小鳥の鳴き声に似ているので、鳥が集まってくるのを狙う)の制作を行い、その後は、周辺の樹木にいる害虫や病原菌の観察を行いました。

バードコールの製作と樹木の観察